

大久保寛司氏連続講座・最終回！

連続講座第4回目が8月30日に開催されました。直前まで台風、嵐の為開催が危ぶまれましたが、寛司さんの「大丈夫」の一言で決行。1年に1度も見られないという、寛司さんのやる気満々の姿と、あんじさんの可憐且つ真剣なお話に、心揺さぶられる会となりました。



【運営事務局】
CSアップ&集客スペシャリティ
株式会社 エイム・トウ
TEL:048-650-6960
FAX:048-645-1051
〒330-0843 さいたま市大宮区
吉敷町1-133-1 ワイドビル4F

講師：大久保寛司さん

「人と経営研究所」所長。人と経営のあるべき姿を探求し、企業・医療関係・自治体・教育関連などへの人材育成支援に尽力。「教えないで、気づきに導くプロ」として全国各地に熱烈なファンを持つ。

連続講座最終回の中身を抜粋します。過去のダイジェストと皆様のメモの中より、タスク22を完成させて下さい。「なりたい自分になる」皆様の良きチャレンジに向けて、今回も心を込めてまとめます。

■リーダーの仕事

部下を「どうやって働かせるか」ではなく、「どうやったらいい表情で働けるか」を考える。



「どうやってうまく働かせてやろうか」という目線で部下を見るからダメなんです。人は、主体的に嬉々としてやっている時力が発揮できます。それはいつでも表情にあらわれています。だからリーダーの仕事は、**部下が「いい表情で働く状況」を考えて作り出す事**です。

スタッフの表情を知っていますか？楽しそうですか？ワクワクしていますか？それとも苦しそうですか？まずはスタッフの表情を知るところから始めましょう。

表情には力があります。

■リーダーの使う魔法の言葉



肯定語

+

NOT

「ダメだ！」と言うのは今日からやめて「良くはないな。」に変えて下さい。

リーダーの使う言葉は重要です。スタッフのモチベーションに大きく関与してきます。

感謝の言葉、優しい言葉、元気づける言葉が勿論大事です。でも、「否」と伝えなくてはいけない時も多い。

その時には**肯定的な言葉の後NOTをプラス。**

「へタだな。」⇒「うまくはないな。」

「却下。」⇒「許可はできない。」

同じ「否」でも、響きが変わる。

響きが変われば伝わるもののが変わる。

伝わるもののが変われば、全てが変わります。

終了

プレ講座 2016年3月15日(火) 時間 14:00~17:30

テーマ『人が輝く職場づくり』

連続講座 第1回 4月11日(月) 『スタッフが思い通りに動くには』

第2回 6月21日(火) 『チームワークの質を高めるには』

第3回 7月19日(火) 『スタッフの能力を伸ばすには』

最終回 8月30日(火) 『自分自身の能力を高めるには』

■自分を知る方法

あなたは、あなたの周りを見渡せば、**自分を知る。**



「オレの周りにはろくな奴が居ない」「オレの会社の人間って無能だらけだ」そう言って嘆いている人、多いです。

人は、**自分の事が限りなく見えません。**

自分の事は分かってる！のは、殆ど錯覚です。

自分がどういう人間か知る方法は1つだけ。

常日頃、あなたの近くには、あなたの周りには、どんな人が居ますか？

類は友を呼ぶ、同氣相求む、牛は牛連れ馬は馬連れ。

その中心こそ、あなたです。



■育てたい部下

お客様を名前で呼ぶよりも、**お客様から名前で呼ばれる**

部下を、育てていますか。

お客様を大切に接客しているうち、常連さんを覚えて名前でお呼びすると喜ばれる事があります。しかし、本当にお客様から求められるスタッフ、「あの人気がいるから」と選ばれるスタッフは、**お客様から名前で呼ばれるものです。**

あなたの部下には、名前で呼ばれるスタッフが何人いますか？

その部下は、ずっとあなたの元で働きたいと思っていますか？

■講座から出た「目からうろこ」の言葉達

運が良いかどうか。 ありがとうの反対は
「当たり前」。

どんな言葉を使うかが
その人の運命を作る。

腰骨を立てよ。

行わないのは、 眉間にしわを寄せたままで、
学んでないのと一緒に。 しあわせになる人は居ない。